

総務企画常任委
3月4日(金)

「消費税増税中止」「戦争法廃止」 いずれの陳情も不採択に

3月4日(金)の総務企画常任
委員会で陳情3件が審議されまし
た。

総務企画常任委員会

田上祥子(公明党・委員長)
瀧口慎太郎(あつぎみらい) A
高田 浩(改革あつぎ) B
奈良 握(無党派) C
山崎由枝(公明党) D
田口孝男(新政あつぎ) E
松田則康(あつぎみらい) F

平和安全保障関連法の廃止を
求める意見書を国に提出す
ることを求める陳情

C: 政治情勢を反映させてしま
う陳情だ。今度の参院選をにら
んで野党共闘の動きがあるが、こ
の陳情の趣旨が上手く関与する
印象を受けない。大きな流れを
つくっていきたいと願う立場。

D: 陳情の趣旨に「採決強行」と
あるが、何度も何度も議論した
戦後の中でいちばん長く話し合
いをした。陳情
には反対。

F: 外交・防衛は
国の専権事項。
国に意見書を出
すことは差し控
えたい。
B: 法の下剋上で
あると思う。こ
の法律で、日本
が世界から尊敬
される国になる

総務企画常任委員会の陳情

陳情名(提出者)	賛成議員・反対議員	結果
陳情第3号 平和安全保障関連法の廃止を求 める意見書を国に提出することを求める 陳情(平和・民主・革新をめざす厚木懇 談会)	賛成(奈良握・高田浩) 反対(瀧口慎太郎・山崎由枝・ 田口孝男・松田則康)	不採択
陳情第4号 国に対して「消費税増税を中止 する意見書」の提出を求める陳情(消費 税をなくす神奈川の会)	賛成(奈良握) 反対(瀧口慎太郎・山崎由枝・ 高田浩・田口孝男・松田則康)	不採択
陳情第5号 「消費税増税中止を求める意見 書」を国に提出することを求める陳情 (消費税廃止厚木地区連絡会)	賛成(奈良握) 反対(瀧口慎太郎・山崎 由枝・ 高田浩・田口孝男・松田則康)	不採択

か疑問。賛成。

採択の結果は
奈良・高田議員が賛成で
不採択

国に対して「消費税の増税を
中止する意見書」の提出を
求める陳情

「消費税増税中止を求める意
見書」を国に提出すること
を求める陳情

D: 反対。長い目で見て、社会保
障に全力で取り組むべき。

C: 各党の立場や利害のある中で
の陳情審議である。今年は選挙
もある。それによって判断され
ることの無い状況で審議できれ
ば、もっと深い議論ができる。
先が見えている中で、つまらな
さがある。収で消費税増税で
配分されるものもある。負担も
ある。地方の経済に与える影響

がどうなのか。

財政課長 自動車取得税は廃止。
地方法人税は9・6%から6%
になる。経済情勢、傾向として
は3%から5%、8%と上がる
たびGDPはプラスに、次はマ
イナスになる。

C: 立場によって違う。増税はボ
ディブローとして効いている。
現段階で来年の状況はわからな
い。軽減税率も不確定。増税は
経済対策としては深刻な状況に
なる。採択すべきと考える。

F: 増税歓迎とは聞いたことが無
い。国全体のことを考えてもら
いたい。逆進性というが、諸外
国に行くと14%、15%。国の財
政赤字を何とか立て直せるよう、
我々の選んだ国会で議論したこ
とだ。市民の安心安全を。

採決の結果は
奈良議員だけ賛成で
不採択

今議会の最終日の3月18日(金)
に本会議で採決が行われます。

マクロ経済スライド

年金受給額の変動は、かつ
ては物価の動きによって見直
される物価スライド制が採ら
れていました。

2005年度に自公政権が
「年金制度の持続」を理由に
導入した『自動削減システム』
がマクロ経済スライドです。
物価・賃金が上がっても、
少子高齢化による年金財政の
影響分(調整率)現在0・9
(%)を差し引いて年金の伸び
を抑えます。

これにより、政府は、10
0年後に年金給付の1年分を
ためることができるとしてい
ます。

